

発行者
諫早市立真城中学校
校長 山内 昇

学校教育目標

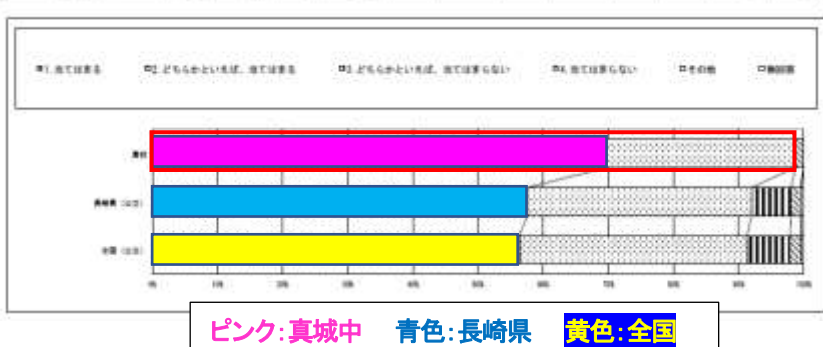
- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（徳育）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（知育）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（体育）

○ 全国学力学習状況調査より

5月に3年生を対象に行われた、全国学力・学習状況調査の結果が発表されました。学校ごとのデータも出ています。その中で、「生徒質問紙」という生活や学習に関する調査の結果の中から、3つをお知らせします。

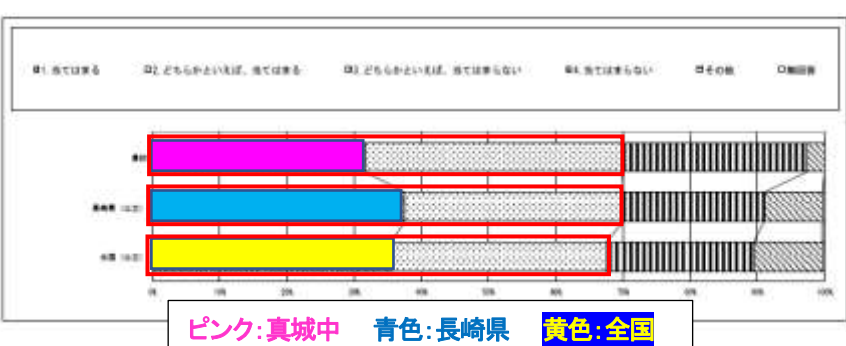
まず、「友達間関係に満足していますか？」という質問で、「あてはまる」と回答した生徒（ピンク色）は、**約70%**で県（青）・（黄）ともに10%超、上回っていました。「どちらかといえば、あてはまる」を含めると、**98.6%**になります。全国的に、いじめやSNSトラブルで悩んでいる子どもたちが多い中で、この結果は、誇ってよいものだと感じています。

質問番号	質問事項											
(7-4)	友だち関係に満足していますか？											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	69.7	28.9	0.0	0.0							0.0	0.0
長崎県（公立）	37.6	36.8	6.1	0.4							0.0	0.0
全国（公立）	36.4	33.9	6.6	0.0							0.0	0.0



次に、「将来の夢をもっていますか？」の質問では、「あてはまる」と回答した人が、県・全国を下回っています。「どちらかといえば～」を含めると、県・全国とほぼ同じ割合になる（赤枠）のですが、自信をもって「将来の夢がある！」と言える真城中生徒であってほしいと願っています。この夏休みは、入試のことだけでなく、その先の自分自身の将来を見つめてほしいと思います。

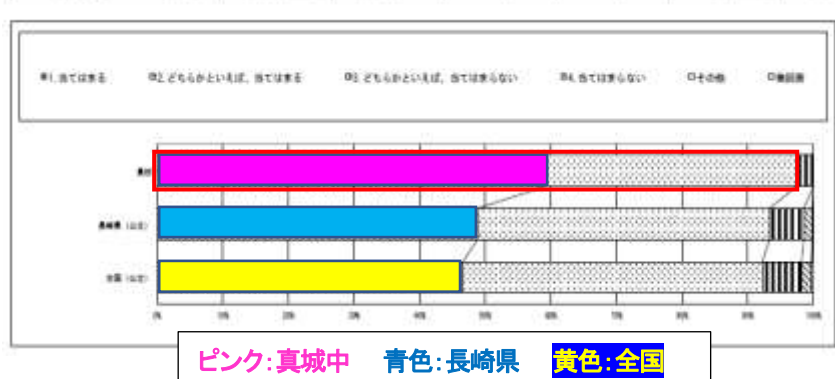
質問番号	質問事項											
(7)	将来の夢をもっていますか？											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
真城	31.6	36.2	27.6	2.6							0.0	0.0
長崎県（公立）	37.9	32.9	26.9	0.0							0.0	0.0
全国（公立）	33.3	32.9	23.9	10.2							0.0	0.0



3つ目は、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか？」という質問です。これには、「あてはまる」と回答した生徒の割合は、全国よりも**10%以上高く**、「どちらかといえば～」を合わせると**98%**になります。真城中学校の3年生を見ると、自己肯定感が高く、物事に前向きに取り組むことができる生徒が多いことに驚かされます。1学期末の総合の発表も素晴らしかったです。

今、「形成的評価」という、学習などの活動の途中での声掛けや適切な支援の重要性が叫ばれています。子どもたちのよさに気付いて声掛け（称賛や承認、ときには助言）をすることで、どんどん伸びることができるはずです。そのような「よい循環」を生み出すことが、子どもたちにとって「プラスのエネルギー」になると信じています。今回の質問は「先生は～」でしたが、ご家庭でもきっと同様だと思います。子どもたちのよさを認め、伸ばすことを、学校と家庭が一体となって取り組んでいけたらと考えています。

質問番号	質問事項											
(6)	先生はあなたのよいところを認めてくれますか？											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
真城	33.2	33.2	22.6	0.0							0.0	0.0
長崎県（公立）	48.9	44.9	0.0	0.0							0.0	0.0
全国（公立）	46.6	40.9	6.0	0.0							0.0	0.0



この生徒質問紙の結果については、別の機会に詳しくお知らせしたいと考えています。

○ 1 学期終業式 生徒代表のことは



リモート配信で行われた 1 学期終業式で、4 名の代表生徒が 1 学期の反省を述べました。今回は 3 年生 2 名を紹介しましたので、今回は、2 年生代表の峯さんと 1 年生代表の田苗さんの言葉を紹介します。

☆ 2 年生代表 峯 さん

1 学期、私は総務委員を務めました。みんなからの推薦を受け総務委員になったのですが、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、なったからには、自分の仕事に責任を持って取り組もうと決意し、一生懸命頑張りました。総務委員にしかできない経験もさせてもらい、今となってはやって良かったと思います。

2 年生は、先日職場体験学習がありました。私は、星の子保育園に行きました。子どもたちの可愛さと、保育士の方々のひたむきさが印象的でした。2 年生全員が、学校生活では学ぶことのできない貴重な経験を積むことができていたようでした。

私の個人的な反省として、登校する時間が少し遅くなってしまい、遅刻しそうになったことがありました。2 年生になり、少し気が緩んでしまっているところもあったと思います。私だけでなく、多くの 2 年生がそういうところがあると思います。慣れることは良いことだと思います。しかし、慣れてしまったせいでやるべきことがやれなくなるのはおかしいと思います。2 学期は気を引き締めて生活していきたいと思います。

2 学期は、修学旅行や合唱交流会など大きな行事が行われます。特に修学旅行に行くことが楽しみです。ただ、楽しむだけでなく、1 学期に学んだことを活かして活動したり、みんなと協力したりしながら、取り組み、2 学期も最高の学校生活や思い出が作れるように頑張っていきたいと思います。

☆ 1 年生代表 田苗 さん

中学生になったばかりの頃は、初めてのことが多く、わからないことや、うまく動けないことがたくさんありました。そんな私達を導いてくださった先輩方、本当にありがとうございました。特に体育大会では、先輩と一緒に円陣を組んで掛け声をかけてもらったり、2 チームに分かれて校歌を競ったりしたことが、とても楽しく、印象に残っています。私達は先輩方や先生方など、たくさんの方々に支えてもらい、中学校生活になじむことができてきました。しかし、その中で、1 年生の課題も見えてきました。

私達、1 年生の大きな課題は、廊下での過ごし方や授業態度だと思います。廊下で走ったり、騒いだりしないようにと、何度も注意されていますが、良くない状態が続いています。また、授業中も、周りの迷惑になる行動が見られるなど、改善することができていません。

しかし、明るく元気に学校生活を送ったり、大きな声であいさつをしたりできるところが、1 年生のよいところだと思います。私は、1 学期の反省をふまえ、2 学期は「周りの人のことを考えて、その場、その場にあった行動」を心掛けていきたいと思います。「明るく、元気がある」という 1 年生のよさを活かしつつ、正しい状況判断をして、先生方に頼るだけでなく、自分ができることを実行して課題を改善していきたいと思います。また、私は先日の 3 年生の先輩方の SDG s に関する発表を聞いて、私達は恵まれた環境の中で学校生活を送ることができていると強く感じました。

1 年生のみなさん、2 学期は、よりよい学年に成長していけるよう、先輩方のように、みんなで努力していきましょう。そして夏休みも、真城中学校の生徒として誇れる行動を心掛けましょう。

発表した 4 名のみなさん、ありがとうございました。自分たちでしっかりと反省点を見つけ、それを改善しようとする姿勢が、たいへんすばらしいと感じました。

1 学期の集会の中で、「紙やすり」の話をしました。紙やすりは表面がざらざらしてこすると痛いけど、それを続けるうちに、表面が次第に滑らかになり、最終的には見事に輝きを放つようになります。生徒の皆さんには、「紙やすり」のように、互いに磨き合い、切磋琢磨できる仲間になってほしいと願っています。

褒めることももちろん大事ですが、互いに磨き合う、力強い集団になってほしいと思います。

○ 図書室からのお知らせ（1学期末）

1学期クラス別貸出数

1年1組	649冊	平均 19.7冊
1年2組	626冊	平均 19.6冊
2年1組	244冊	平均 6.6冊
2年2組	255冊	平均 6.9冊
3年1組	88冊	平均 3.0冊
3年2組	91冊	平均 3.1冊
3年3組	45冊	平均 1.5冊

一番借りられた本は

「100日後に死ぬワニ」でした。

一番借りた人は 103冊でした。



図書室から、1学期の貸出冊数の集計表をいただきました。

左の表のとおり、**1年生の読書量は圧巻です！**本を読む習慣が身に付いている人が多いことがわかります。

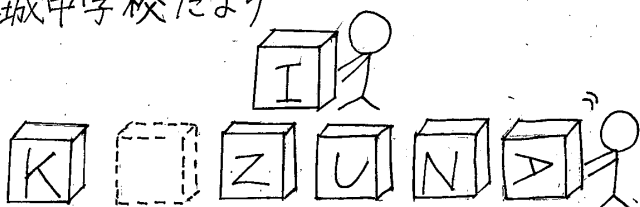
また、去年の1学期終わり時点の貸出冊数は、1600冊だったのですが、今年は約2600冊と、**およそ1000冊増えています。** **1年生の活躍が輝いています！**

なお、個人で一番借りた人は、1学期で100冊を超えています。1年2組の波江さんです。また、1年生には50冊以上借りた人が、7名いるそうです！！読書は、心を落ち着け、集中力を高めることにもつながりますが、最近、生徒に身に付けてほしい力として、「**読解力**」という言葉がよく聞かれます。物事をしっかりと読み解き、内容を理解して自分のものにする力です。全国学力・学習状況調査でも、非常に長い問題文を呼んだあと、1～2問の質問があります。問題の意味をしっかりと把握していないと、正解を導くことはできません。実際の社会でも、単純に正解を出せる場面は少ないです。「**読解力**」を身に付けるためには、日頃からの読書が非常に有効です。それに加え、語彙（言葉の数）もどんどん増え、表現力も豊

かになってきます。

この長い夏休み、じっくりと読書に浸ってほしいと思います。「お勧めの本は何ですか？」と聴かれて、「〇〇です！」と答えることができる人を目指してみてもいいでしょうか？

真城中学校 だより



今回の「輝継」のタイトルは、1年1組の杉本さんの作品です。大きな積み木（ブロック）を運んでいる姿が可愛らしいです。もう少しで完成しそうな場面を描いているのは、真城中学校の「輝継」が完成に向けている途中だという意味も込められているのではないのでしょうか？そう考えると、奥が深いイラストだと思います。杉本さん、ありがとうございました。